



2025 聴覚 フェスティバル

特別
企画

多様な「聞こえ」でつながる世界

吉本
浩二氏

スペシャルゲスト

2025 9/15 MON 祝

10:00-17:00

武蔵野大学
武蔵野キャンパス

★特別企画のみハイブリッド配信予定

参加費
無料

1973年、富山県生まれ。高校卒業後、日本福祉大学へ進学。

テレビ番組制作会社に就職するも1年で退職。その後漫画家デビューを果たす。著作は『ブラック・ジャック創作秘話～手塚治虫の仕事場から～』（原作：宮崎克）『日本をゆっくり走ってみたよ』など。難聴や耳鳴りをテーマにした『淋しいのはアンタだけじゃない』は、文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作に選ばれた。現在、週刊モーニングにて『定額制夫のこづかい万歳～月額2万千円の金欠ライフ～』を連載中。

主催 聴覚フェスティバル2025実行委員会

★本イベントは、武蔵野大学しあわせ研究費の助成を受けて開催いたします。



聴覚フェスティバル2025

多様な「聞こえ」でつながる世界

X



@hearingfestival

Instagram



@hearing_festival_mu

SNSで
最新情報を
配信中!

聴覚障害当事者の「聞こえ」や「コミュニケーション手段」の選択を認め合い、経験を共有しながら、情報保障・表現・技術・教育・社会参加の可能性を探っていけたらと願っています。「交流」「学び」「気づき」「発信」の場をご一緒できることを楽しみにしております。

プログラムタイムスケジュール *変更になる可能性があります

1号館メイン会場

9:30-
受付@1階

10:00-10:15
開会挨拶

10:15-11:30

リアルタイム配信あり

特別企画
漫画家 吉本浩二氏

『淋しいのは
アンタだけじゃない』
の世界から考える、
多様な聞こえ・
コミュニケーション

定員 会場参加 200名

11:30-12:00
展示の見どころ紹介



12:00-15:00は
他の会場にて、ご参加いただけます

15:15-16:15

聞こえカフェ&
説明書作成
ワークショップ
参加者からの報告

16:15-16:30
閉会挨拶

1号館サブ会場

10:00-
15:30

聞こえカフェ

聴覚障害当事者や
そのご家族・パートナー等、
多様な背景に応じた
グループ分け
言語聴覚士をはじめとした
スタッフの司会進行のもと、
自分を見つめ、他者を知り、
思いを共有し、語り合う場

「聞こえの説明書」 作成ワークショップ

自分の聞こえや
コミュニケーション、
聞こえにくさからくる
困難さを見つめ、整理し、
周りの人に伝えてみよう

*定員制 要事前申込

企業・ 団体展示 技術紹介 ブース

補聴器
人工内耳
情報保障機器
などの展示
教育・福祉・
地域での
取り組み紹介
など

13:00-15:00

聞こえカフェ

12:00-13:00

「聞こえの説明書」作成 ワークショップ01

14:00-15:00

「聞こえの説明書」作成 ワークショップ02

オープン カフェ

障害の有無、
属性に関わらず、
ご来場された
全ての方が
出入りできる
開かれた
対話の場



紅雲台

10:00-12:00
親子スペース

メイン会場配信あり

10:15-11:30

子ども縁日

またあて・魚つりなど
おみやげつき

難聴児・者を 育てる 保護者対象の 聞こえカフェ

13:00-
14:00

保護者対象の
聞こえカフェ
01

あそび の 広場

14:00-
15:00

保護者対象の
聞こえカフェ
02

お絵かき
おままごと
おひるね
など
まったり
すごそう♪



お申し込み方法

1次締め切り 2025.8/29 金

2次締め切り 2025.9/14 日

*特別企画、聞こえカフェ、説明書作成、ワーク
ショップについては、準備の都合上、早めに
申込された方を優先させていただきます。



交通アクセス

武蔵野大学「武蔵野キャンパス」東京都 西東京市 新町 1-1-20

三鷹駅北口 3番乗り場「武蔵境駅」「武蔵小金井駅」行

吉祥寺駅北口 1番乗り場「向台町 5丁目」「関前西公園」
「ヴィーガーデン西東京」行

武蔵境駅北口 3番乗り場「三鷹駅」「武蔵野営業所」行

→「武蔵野大学」で下車



前回の様子

